

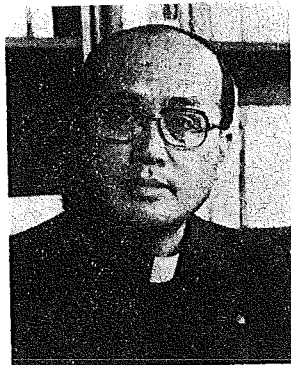
英知通信



入学式式辞

「目的意識をもって
実りある学生生活を」

学長 傘木澄男



新入生の皆さん、ご入学おめでとう
ございます。ご父兄の皆様にも心
からお祝いを申しあげます。

目的意識を持つ

皆さんは将来への希望に胸をふくらませ、大学生活に大きな期待を抱いて入学されたと思います。私はまず皆さんのこれから四年間の大学生活が真に有意義な、実りあるものとなるか否かは、ひとえに皆さんの自覚と努力に掛っているということを強調したいのであります。大学という所はあくまでも教育と学問研究の場であり、しかもその教育と勉学は高校までのように「教えられる」受身の教育ではなく、積極的・自発的にする勉学でなければなりません。どんなに少人数制に徹し、家庭的雰囲気豊かな学園であり、家庭の雰囲気豊かな学園であり、自主性も自発性もない学生は、決して進歩せず、結局取り残されてしまおう。こういう怠惰で受身の学生に対しては、周囲は何もしないことはできないのです。

たがって大学において最も大切なものは、はっきりとした目的意識であります。これをもってまじめに勉学し、努力する者だけに私共は援助と指導の手を差し延べることができるとです。今日の大学には、一たん入学すると、それからは進むべき道、やるべき事を見失ない、あるいはそれを模索することもせず、ただ無気力に日を送っている学生が多くいます。しかし、自分から求めるのでなければ何も得ることができないというのが大学であります。この点については如何なる甘えも許されないものであります。

これからの時代は、物事が急激に変化し、価値観の変動と混乱のますます深刻化する時代であります。こういう時代に要求されるのは、正しい物の見方、考え方、正しい決断のできる強い知性、明せきな精神であり、あらゆる状況、あらゆる変化に対処し得る実力であり、そして、どの時代になっても、人間のこうした実力の根本となるのは学力であります。将来、学歴が無用になることはありませんが、学力が無用になることはありませぬ。皆さんは今、学歴や肩書きのためではなく、学力のために入学したのだということを自覚して下さい。そしてこれから明確な目的意識をもって、語学を豊かにし、専門の勉学に励み、教養を豊かにし、友情を培い、実り多い大学生活を送られますよう切に、望むものであります。

大学は人間形成の場

のであります。

大学はまず教育・研究の場であり、それが、それとともに人格形成の場でもあります。大学における人格形成、人間形成というものは、これが残念ながら一般に学校教育において閉却されております今日、特に重要であると考えます。深い専門の知識はもちろん、豊かな教養を身につけて明るく健康な、人間性豊かな社会人として社会に奉仕することのできる人間に成長していくことを、社会は皆さんに強く求めているのです。大学には多数の若者が集まり、互いに助け合って向上していきたいという真面目な願いを皆が持っている。皆さんは自分のカラの中に閉じ込めることなく、クラスやクラブの活動勉強やスポーツを通して、できるだけ多くの学友と交わり、共に語り励まし合って、共に成長していただきたい。

最近の調査によれば、近頃の大学生は、孤立傾向の顕著であったひと昔前の大学生に較べて明るく健康的で、やる気はあるものの、他面自我的形成がおくれ、人生や宗教問題とも縁がなく、何をしたらよいか、何を選択すべきか自分では決められない人間、自分の手で人生を切り開いていけない人間、即ち自主性と自己決断力を欠いた人間が増えているということでもあります。それは多分今日の余りにも過保護の風潮の中で人生の壁にまともなぶつかった経験が欠けているためなかも知れませぬ。いずれにせよ、この健康的な明るさが、ただ青年の自我の形成される以前の子供の明るさ、健康さに過ぎないとしたら、確かに問題であります。併し、これからの四年間の間に、そして卒業して実社会に出れば

はじめのある生き方

否応なしに壁にぶつかる経験は増すことでしょう。その時皆さんは、それが自分を作るよき試練であり、与えられたよき機会であると考えて、勇気をもってそれに当たって下さい。

そのためには日頃、規律と節度をわきまえた、はじめのある生き方を心掛けることが大切なことであります。遊びと勉学、クラブ活動やスポーツと授業時間、漫画と読書、私的な生活と学生および社会人としてのあり方、すべてに節度をわきまえ、はじめをつけるという態度が必要であります。例えば、運動着のまま教室の授業に出席するとか、時と場所をわきまえない喫煙や騒音で周囲に迷惑を掛けるとか、こういうことは大学生として恥ずべきことであります。大学は学生と教職員すべてによって作られている共同体であり、皆さんもこの大学の構成員の一人として、学園が教育研究および人格形成の場にふさわしい環境と雰囲気を保つことに責任を持ってもらえます。どうか皆さんが、英知大学々生として、学内の規則を守り、大学らしい健全な秩序と規律の維持に協力して下さるよう、皆さんの良識と知性に期待するものであります。

自由と責任

今までの学校生活とは違い、一人前大学へ入りますと皆さんは一人前の大人として扱われ、欠点や間違いについても、いち／＼細かい注意を受けるということがあります。ですから自分で気づいて直していくのですね。それからは自由を与えられるのです。しかし、自由は気まま勝手ではありません。責任がともないま

す。責任のない自由は真の自由ではなく、有害な放縦と化し、その人を自我の奴隷にしてしまいます。その結果は、大学の入学試験の時を最高人間としても低下する一方ということにさえ、なってしまう。また学生として社会に対しても大きな責任を負うていることも自覚していただきたいと思ひます。今日、私立大学も、国庫から多額の補助を受けており、こうした国民の税金による負担があつて始めて大学の存立は可能なのであります。皆さんはどうか、能力を持ち、勉学の意欲を持ちながら大学へ来れなかつた多くの人々の分までも学び努力するという心構えをもつて、何よりも大学生としての本分である勉学と人間形成に励んで下さい。

英知大学の理念

ご承知のように英知大学は、キリスト教精神に基づく真の人間教育、人格形成を建学の精神としているカトリック大学であります。この建学の理想を同じうするカトリック大学は全国に十一あり、それらは互いに協力して、わが国の大学教育のために尽くしているのであります。本日はここに御来賓として、これら姉妹校の一つであります上智大学から、その教授であり、理事でもあられる高橋憲一先生にご列席頂き、のちほどお祝辞を頂戴することになっておりますが、両大学の親しい結びつきがこのような形で新入生の皆さんの前に表明されますことは、まことに意義あることであり、私の大きな喜びとするところであります。私は皆さんが何よりも英知大学のこの根本精神と理想に共鳴されて入学してこられたと信じます。どうか皆さんが、私も教職員、在学生、卒業生、こ

の大学共同体を構成する全てのの人々と共に、英知大学のよき伝統を作り育てていく事業に参加されますよう念願する次第であります。

終りに

皆さん、皆さんが四年後、本学を卒業される時に「自分は充実した、悔いのない大学生活を送ることができた」と満足感をもって実社会へ巣立つことが出来るためには、その充実した生き方は、今日ここから始められなければならない。終りに、ご父兄の皆様にも、きょう入学されたご子弟が、これから幸せな、実り多い大学生活を送られるよう、今までと同様、温く見守り、ご援助とご協力を下さいますよう、お願いいたします。

これをもちまして、私の歓迎のご挨拶といたします。
(昭和五十五年四月七日)

入学ニュース

○新入生のご父兄が、例年になく多数ご来学下さつて、わが子の入学を祝うとともに、学長の式辞に聞き入り一々うなづいていられた様子が十分に伺われた。式後本学



を十分に見学され、宗教的な雰囲気の中に、設備も整い、環境も整備されたこの大学で、四年間学ぶことよろこびを、感じとられていたことと思う。次に感心しておられたことは、この大学に外人の先生方の多いことである。本学では現在十数か国から来学されている十八人の外人先生方によって、外国語は勿論、その国々の文化事情などを学び、世界的視野に立つて人間形成ができるのは本学の誇りであることを、ご父兄の皆さまもお感じになったことと思う。

○特に申し上げたいことは、本年度の入学式に当り、上智学院理事上智大学教授高橋憲一先生が、態々東京よりご来学を頂き、新入生の為めに祝辞を賜つたことである。

わが国における共学のカトリック大学は上智大学・南山大学と本学との三大学であり、その中で最も長い歴史を持ち、世界的な上智大学と本学とが兄弟関係を結び、両大学がお互いに助け合いつつ発展のために尽しましうと、親しい祝辞をいただきましたことは、将来へ大いに希望をいだく昭和五十五年度の入学式であつたと思う。

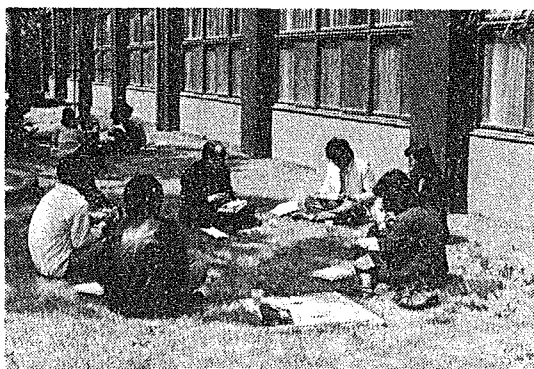
新入生オリエンテーション

学生部長 松本信愛

入学式を月曜日にするという関係上、昨年は四月二日であつたのが、本年は五日遅い四月七日の入学式となつた。

新入生の受け入れ対策としては、昨年の十二月より「オリエンテーション委員会」なるものを設け、検討した結果、本年は次のような二、三の新しい点を取り入れられた。

まず入学式当日、式に続いて専任の先生方が、新入生及び御父兄に紹介された。これは、例年、学科別集合はあるので、各学科所属の先生方は、少なくとも同学科の新入生に紹介される機会はあるのだが、一般教養担当の先生方にはそのような機会がどこにもなく、しかも、新入生は一般教養の授業を多く取るという矛盾に答えようとしたものである。



勿論、御父兄に、本学の全教官を紹介する、という意味もあつたのであるが、その観点からの紹介は時間的に、少々無理があるようである。次の新しい点は、第二日目の「大入生オリエンテーション」である。

これは従来、学外で行なつてきた一泊二日のオリエンテーションに代わるものとして、企画された。

学外の一泊にも大きな利点があるのであるが、なにしろ学生を、いくつかのグループに分けて行なわなければならない、それにもまして具合が悪いのは、学外では、多くの先生方に参加していただけない、という事である。その点、学内で行なえば、一度にできるだけでなく、全先生方の出席を期待できる。事実、今回は殆んど全員の先生方の出席のもとにオリエンテーションが行なわれた。特に、今年から始まつた「アドバイザー制」のために、全先生の出席が、どうしても必要であつたので、その点は成功であつた。

ここで「アドバイザー制」のこと

(昭和55年度)

英知大学

英文学科	年度	55	第2表 卒業年比(合格者)	年度	55	第3表 男女比(合格者)	年度	55
	推薦	2.82		本年度	84		男	66
	試験	3.71		過年度	16		女	34
西文学科	年度	55	年度	55	年度	55	男	57
	推薦	1.76	本年度	90	女	43		
	試験	2.71	過年度	10				
仏文学科	年度	55	年度	55	年度	55	男	64
	推薦	2.39	本年度	74	女	36		
	試験	2.54	過年度	26				

昭和五十五年入学試験は、推薦入学(五十四年十二月四日五日六日)試験入学(五十五年二月十三日十四日十五日)の二回、実施した。入学試験の結果は次表の通りである。

入学試験状況

に少し触れておくと、これは、全新生を、全専任の先生で割って、一人当たり、五、六人の学生を受け持つ制度である。これは、一年生にしか適用されないが、一年間の小グループで集まり、先生を囲んで何かを学び、話し合うというものである。更に今年はおリエンテイションの週中に、即ち、授業の始まる以前に受講科目の登録をすませたので、新入生の授業が始めからしつかりと行なえたのもよかった点である。今後の課題も多く残ったが、年々少しづつでも改善されることを希望する。

五十五年 入学試験統計表

英知大学

学部	性別	出願者数			受験者数			合格者数			入学者数		
		推薦	試験	計	推薦	試験	計	推薦	試験	計	推薦	試験	計
神学科	男女	4	1	5	4	1	5	4	1	5	4	1	5
	男女	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	2	2
	計	4	3	7	4	3	7	4	3	7	4	3	7
英文学科	男女	221	240	461	219	214	433	63	50	113	54	33	87
	男女	59	66	125	57	57	114	35	23	58	31	14	45
	計	280	306	586	276	271	547	98	73	171	85	47	132
西文学科	男女	47	65	112	46	59	105	21	14	35	17	12	29
	男女	12	20	32	12	17	29	12	14	26	12	12	24
	計	59	85	144	58	76	134	33	28	61	29	24	53
仏文学科	男女	34	81	115	33	72	105	11	23	34	9	16	25
	男女	10	17	27	10	17	27	7	12	19	7	10	17
	計	44	98	142	43	89	132	18	35	53	16	26	42
合計	男女	306	387	693	302	346	648	99	88	187	84	62	146
	男女	81	105	186	79	93	172	54	51	105	50	38	88
	計	387	492	879	381	439	820	153	139	292	134	100	234

昭和五十五年 出身校別入学者数

昭和五十五年入学者の出身高校は左表のとおりです。例年のように近畿の高校が多数です。

一〇名 啓光学院。六名 大阪貿易学院、仁川学院。五名 大阪。四名 箕面自由学院、大阪商大附属、大阪信愛、育英、百合学院、三田。三名 渋谷、大阪学院大学附属、城星学院、成器、島上、村野工業、啓明女学院、須磨、県立芦屋、東灘、洛南、聖母学院。二名 日新、北淀、此花学院、樟蔭東、大鉄、河南、明星、浪速、大阪女学院、大阪市立東長野北、被昇天、茨木西、神戸野田、日ノ本学院、県立西宮、赤塚山、西宮北、夙川学院、甲子園学院、智弁学園、光ヶ丘、神戸商業。一名 賢明学院、南寝屋川、摂陵、茨田、桃山学院、四天王寺、港、P・L学院、堺西、貝塚南、汎愛、東百舌鳥、三島、勝山、門真、東豊中、花園、吹田東、佐野、同志社香里、豊島、金岡、西商業、阪南、布施、和泉、城東工業、阿倍野、大阪市立、松原、春日丘、大東、旭、天王寺、明石南、報徳学院、愛徳学院、三木、神戸山手女子、八代学院、明石西、滝川、私立神港、神戸北、川西緑台、尼崎北、上郡、市尼崎、北須磨、葺合、尼崎東、有馬、川西明峰、武庫之荘、兵庫、東播磨、賢明女子学院、桃山、京都女子、加悦谷、聖家族、八幡、峰山、山城、洛東、東舞鶴、平安、城内、一条、樞原、帝塚山、和歌山信愛、比叡山、緑、山県、聖マリア、岐阜第一女子、中津、岐阜女子、岡山理科大附属、津山、倉敷青陵、金山学院、金川、日影館、松徳女学院、大社、野田学院、徳島市立、日向学院、鯖江、

図書館だより

鳥取商業、倉吉西、三池、海星女子学院、大分女子、白馬、鹿児島、弟子屈、旭川西、外国、(順序不同)

花は咲き、若者は競う。卯月、十年一日のような図書館にも新鮮な雰囲気漂う。目に触れた隅の小石の一二を拾ってみる。

新入生オリエンテーションの折に「図書館だより」を配布した。例年通りとも云えるが、題字は理事長安田久雄教授(大阪大司教)のお書き下さったもの、安田理事長のお人柄のじむ題字は新入生に本学の厳しくも温かい学風を印象づけたにちがいない。

新着図書の色は *Patrologia Graeca et Latina* ギリシャ・ラテン教父原典全四〇〇巻である。十九世紀 J. P. Migne がパリで編集刊行したものの復刻版で、キリスト教教会史、教義史、神学等の研究はもとより、中世に関する凡ゆる研究に不可欠の貴重本であって、わが国でこれを所蔵する図書館は十指を数えない。邦貨四三〇万円余という格安で入手できたのは、和田前館長の御尽力はもとより、淳心会の御好意によってベルギーから直輸入できたお蔭で、誠に有難いことである。

昭和五十四年度統計は次の通り
受入図書四、八六三冊(内洋書二、八二八冊)、購入費一六〇七万円、学生一人あたり一四、八九五円、蔵書総数五九、三三七冊である。決して充分とは云えないが諸方面の努力の賜物でもあり、他大学と較べて損色のない点もない訳ではない。因みに78年度迄の五年間の統計を次に掲げておく。

1974~78 図書館統計

項目	学生数(人)					蔵書冊数(千冊)					学生一人あたりの蔵書冊数(冊)					学生一人あたりの館外貸出冊数(冊)					図書費(万円)					学生一人あたりの図書費(円)				
	74	75	76	77	78	74	75	76	77	78	74	75	76	77	78	74	75	76	77	78	74	75	76	77	78	74	75	76	77	78
英知大学	868	1010	1041	1106	1043	43	45	47	50	54	49	45	45	45	52	2.8	1.9	1.9	1.8	1.9	780	931	1069	1056	1262	8986	9222	10272	9550	12096
関西外大	6019	5897	5989	6064	5883	69	74	86	94	109	11	13	14	16	19	1.2	1.3	1.1	1.6	1.6	2288	2048	6152	3579	5358	3800	3472	10272	5902	9107
京都外大	—	4070	4174	4070	4279	—	182	194	204	213	—	45	46	50	49	—	0.9	0.4	1.2	1.4	—	9832	9042	10811	8920	—	24158	21662	26562	20846

同窓会だより

同窓会支部設立

去る十一月三日、昭和五十四年度英知大学同窓会総会が開催され、昭和五十五年事業計画の一環として長年の懸案であった同窓会支部の設立が決議された。国内を十一ブロックに分け、これに海外ブロックを加え十二ブロックとする。さらに国内は、原則として一県に一支部、都市部は二ないし三支部、計五十支部海外は、北米地区、南米地区、ヨーロッパ地区、アジア地区、中近東地区の五地区とし、これを更に二十一支部に分けることとなった。以上の地域ブロック・支部の設立が実現すると、卒業生相互の親睦と共に、在学生や入学希望者等と地元とのOBとの緊密な連絡が可能となり、各々の地域に密着し、更に全国レベルでの知名度の向上にも寄与できるものと期待される。

この他の今年度事業としては、英知大学同窓会学術研究会(仮称)の発足、名簿第三版の発行、母校事業への協力等を計画している。

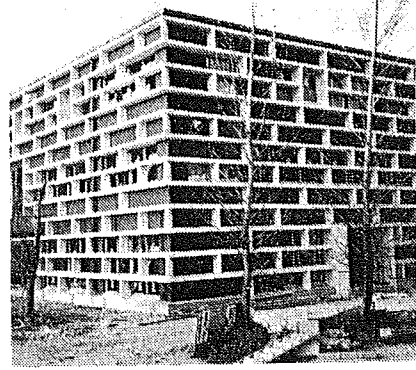
また、この四月より母校在職OBとして更に四名が加わり、より一層活発な同窓会活動へ新たなスタートが切られる事となった。

このように英知大学同窓会も一歩一歩着実に成長しつつあるが、これも傘木学長先生をはじめ諸先生方の暖かい御支援、御協力によるものと役員一同、心より感謝致しております。今後とも、ますますの御指導・御鞭撻、御協力を賜わりますようお願い申し上げます。

同窓会書記 玉手康雄記

学生会館の完成間近か

昨年秋季工された学生会館は四月末現在、外装工事を完了し、五月中旬の完成・開館を目指して急ピッチで工事が進められている。



会館内部は一階に学生の和やかな交流の場となるゆったりとしたラウンジがあり、二階はステージ付きの大ホールになっている。二階には集會室、控室もあり、そこには学内全体に向けて放送できる放送施設も置かれる。三階は映写室、機械室、それにクラブ室も入る。また一階には完全防音の音楽練習室が三つつけられ体育館一階南側に目下同時に工事中の二つの防音練習室とともに、今後学生たちが騒音の心配なしに練習できる絶好の施設となる。二階ホールは本学学生数からみて格好のサイズで、音楽会や演劇などに頻繁に使われることになろう。

新学生会館は三階建てのこじんまりした建物だが、学園の中心部に位置し、今後の学園生活のセンターとしてすべての学生たちから愛用される学生生活の充実のために大きな働きをするものと期待されている。

新人事

三月三十一日付

退職 フランス文学科講師 山川ツタ子

退職 図書館長 和田幹男

四月一日付

新任 図書館長 西山俊彦

昇任 助教授に昇任 英文学科井勢健三

講師に 同 西文学科山口忠志

講師に 同 一般教育科目諏訪栄治郎

学園ニュース

○守衛を設ける

正門を入ったところに立派な守衛のボックスが建てられ、四月より守衛が勤務している。勤務時間は午後一時より午後九時まで、勤務は学園内の秩序を保ち学内巡視などにより戸締その他の調べを行う。学生諸君の協力によって、学内の秩序がよりよくなるよう希望する。

○看護婦常置さる

四月より看護室に看護婦が常置され、学生諸君の健康問題について意を注ぐこととなる。

○昼の事務時間の変更について

次の時間は学内一斉に業務を停止しますから、一般の来学者も学生諸君も承知せられ善処されたい。

業務一斉停止時間帯は
午前十一時三十分より
午後十二時三十分まで

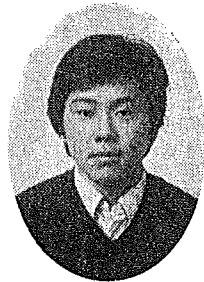
なお十二時三十分から業務を再開します

英知大学に

入学して

神学科一回生

池島 与 眺



生まれは両親は両親の間、私生活は多

い兄弟たちと生活を共にし、自分ただ一人では何らかの明確な意志を持って、自分とは何か、自分の存在、もしくは自分の生き方を確かめたいと思、両親の苦勞を心に受けとめながら、やって来た。家族の者に樂をさせるでだはいくつもあつただろう。しかし今のまゝの自分で一生を終えることは納得できなかった。まだまだ自分を磨かなければならない事が数多くあると思う。

先生や先輩、友達から、自分に欠けている良い面を学び、あるいは悪い面を見出し出して改めていくことができると思う。

大学に入学して、ただ単に単位を取るだけの学生でなく、人生の価値や目的に対する考え方をより豊富に育てていきたい。そして何年後になつて、自分の姿を落着きをもって振り返ることのできる人物になれたらいい、と思つている。人々の中へ社会へ出るには、まだまだ自分は未熟で、多くの人々の助けを必要としている。そして人々からの助けを大いに活用して、その人々の期待に十分応えらるるよう、自分なりに頑張つて行きたいと思つている。

宗教主事室より

本学に宗教主事室があるのを御存知でない向きも多いようだが、正式に誕生をみてから今年で四年目、建学精神の高揚、人格的向上を目指す生き方への援助を心懸けている。

これ迄、クリスマス等種々の行事マザー・テレサのスライド、チャペル・ニュースの刊行等を行い、とりわけ日常の触れあいを大切にして来た。定期的行事としては、火曜、木曜(ミサ)チャペル・アワー、英知ファミリア・アワーとキリスト教入門講座を毎週行っている。火曜チャペル・アワーを紹介すれば、これは本学諸先生方によるお昼休みを利用した親しい語りいで、水々しくも心温まる感銘を手えずにはおかないものである。新年を迎え既にK・ライマン教授による「春、衣更えの時」、佐伯わか子教授による「野の百合」と題する語り教授が持たれた。これはスピーカーで全学に流され、本学の温かい雰囲気やが上にも温いものとした大変好評である。

その他、五月一日には、英知ファミリア・アワーの一環として、G・ペーキ文学部長による「共産主義社会のウラ・オモテ」と題する「帰朝」特別講演が予定されており、既にして多大の期待が寄せられている。

英知通信

昭和五十五年五月二十一日発行

編集 英知大学広報室

兵庫県尼崎市若王寺苗田
電話(06)四九一―五〇八三
六六一